

Cisco BroadWorks Application Delivery Platformソフトウェアのクロスサイトスクリプティングの脆弱性



アドバイザーID : cisco-sa-broadworks-xss-xbhfr4cD [CVE-2022-20869](#)

初公開日 : 2022-08-03 16:00

バージョン 1.0 : Final

CVSSスコア : [6.1](#)

回避策 : No workarounds available

Cisco バグ ID : [CSCwc13562](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco BroadWorks Application Delivery Platform SoftwareのWebベース管理インターフェイスの脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者がインターフェイスのユーザに対してクロスサイトスクリプティング攻撃を実行する可能性があります。

この脆弱性は、Webベースの管理インターフェイスがユーザ入力を適切に検証しないことに起因しています。攻撃者は、インターフェイスのユーザを巧妙に細工されたリンクをクリックするように誘導することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は影響を受けるインターフェイスのコンテキストで任意のスクリプトコードを実行したり、ブラウザの機密情報にアクセスしたりする可能性があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-broadworks-xss-xbhfr4cD>

該当製品

脆弱性のある製品

公開時点では、この脆弱性は、BroadWorks Call CenterまたはBroadWorks ReceptionistアプリケーションがインストールされているCisco BroadWorks Application Delivery Platform

Softwareに影響を与えました。

公開時点で脆弱性が確認されている Cisco ソフトウェアのリリースについては、このアドバイザリの「[修正済みソフトウェア](#)」セクションを参照してください。最も完全で最新の情報については、このアドバイザリの上部にあるバグ ID の詳細セクションを参照してください。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性のある製品セクションに記載されている製品のみが、この脆弱性の影響を受けることが分かっています。](#)

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

[ソフトウェアのアップグレード](#)を検討する際には、シスコ セキュリティ アドバイザリ ページで入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性とアップグレードソリューション一式を確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

修正済みリリース

発行時点では、次の表に記載されているリリース情報は正確でした。最も完全で最新の情報については、このアドバイザリの上部にあるバグ ID の詳細セクションを参照してください。

左の列に、シスコソフトウェアリリースを示します。中央の列には、この脆弱性に対するパッチがリリースされたかどうか、およびパッチを検索できるリリース番号が表示されます。右側の列には、使用可能なパッチのファイル名が表示されます。

Cisco BroadWorksコールセンター リリース	release number	パッチファイル名
22.0	22.0.2022.06	BWCallCenter-22_2022.02_1.300.war (中央サイトのみ)
23.0	23.0.2022.06	BWCallCenter-23_2022.02_1.300.warです。
24.0	24.0.2022.06	BWCallCenter-

Cisco BroadWorksコールセンターリリース	release number	パッチファイル名
		24_2022.02_1.300.war (中央サイトのみ)

Cisco BroadWorks受付係リリース	release number	パッチファイル名
22.0	22.0.2022.06	BWReceptionist-22_2022.02_1.300.war (登録ユーザ専用)
23.0	23.0.2022.06	BWReceptionist-23_2022.02_1.300.war (登録ユーザ専用)
24.0	24.0.2022.06	BWReceptionist-24_2022.02_1.300.war (登録ユーザ専用)

Product Security Incident Response Team (PSIRT; プロダクト セキュリティ インシデント レスポンス チーム) は、このアドバイザリに記載されている該当するリリース情報と修正されたリリース情報のみを検証します。

不正利用事例と公式発表

Cisco PSIRT では、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表は確認しておりません。

出典

この脆弱性は Cisco TAC サポートケースの解決中に発見されました。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-broadworks-xss-xbhr4cD>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	—	Final	2022 年 8 月 3 日

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。